

岩手県立盛岡南高等学校



学校評議員会実施報告書

令和4年度 第2回学校評議員会の報告である。

1 開催日時 令和5年2月17日（金） 15:30～16:30

2 出席者 学校評議員 安達 勝名、佐々木 秀一、杉本 則子、高橋 善躬、田口 雅敏
教職員 阿部 圭次、川戸 英夫、村山 薫美、吉田 耕

3 説明内容

- (1) 学校概況説明
- (2) 学校評価アンケートの結果

4 主な質疑応答・意見交換

評議員：アンケートでは、約7割の生徒が「教え方が工夫されている、授業がわかる」と回答している。具体的にどのような教え方の工夫をしているのか。

職員：県教委で配置したタブレットを授業で活用したり、2年生の総合的な探究の時間で様々なコンテンツを活用し週末課題とするなどの工夫をしている。タブレットを活用すれば学力が身に付くのかと言われることもあるが、活用することにより生徒が授業に興味・関心をもって臨むことで、わかる授業、工夫された授業といった評価につながっているものと考えている。

評議員：相談できる相手がいる、相談する場所があると回答が多く、いじめ問題等への対策ができていると感じる。何か具体の取組があったのか。

職員：新たに何か取り組んだということはないが、日頃から職員が授業や部活動等を通して生徒のシグナルを見逃さないといった意識が高まってきているのではないかと考えている。

評議員：スクールカウンセラーはうまく機能しているのか。

職員：県教委派遣が1名、本校でお願いしているカウンセラーが1名の2名で対応している。生徒だけではなく保護者にも活用いただいている。深刻な相談もあるが、中には相談室に少し寄ってカウンセラーと話をするといった生徒もいる。かつては、カウンセリングを受けることがマイナスのイメージということもあったが、今はそんなことはない。何か結果を求めるということではなく、上手に活用していると考えている。

評議員：今後、年1回でもいいので、学校を訪問し実際に生徒の活動風景を見る機会を作ってほしい。

評議員：統合まで残り2年となるが、生徒が誇りと気概を持って過ごせる2年間であってほしい。

5 連絡事項

本日の旅費等の振込みについて